



令和3年4月19日

# 蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校  
文責：校長 柿林 浩彦

第4号

## i P a dを活用します

～G I G Aスクール構想の実現に向けて～

令和元年12月、文部科学省はG I G Aスクール構想を打ち出しました。このG I G Aスクール構想の目的は、小中学生に対して「多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを実現する」ことです。その土台は、教育現場へI C Tを基盤とした先端技術を導入することであり、核となるのは次の2点です。

- ①高速大容量の通信ネットワーク整備
- ②小中学生1人1台の学習端末導入

今でも学校にはパソコン教室があり、パソコンを利用した授業を行っています。しかし、デスクトップパソコンは持ち運びできませんし、現在の通信速度は高速ではありません。G I G Aスクール構想は、当初5カ年計画で進める予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で一斉臨時休校になるなど状況が急変したため、G I G Aスクール構想の実現は前倒しされました。

呉市においては、タブレット端末としてi P a dが導入されます。すでに教職員用のi P a dは2月末に配付（貸与）され、本校においても既に教員が授業で使用したり、研修したりしています。近いうちに、生徒一人一人にi P a d（W i - F iモデル、充電器、端末用ケース、画面保護フィルム付き）を配付（貸与）します。

今後は授業や家庭学習において、少しずつi P a dを活用するようになります。

例えば、

- ・検索サイトを活用した調べ学習
- ・文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用
- ・プリントの配付・回収・共有など一斉学習の場面での活用
- ・一人一人の学習状況に応じた個別学習

など活用方法は様々です。

これらが実現するよう、生徒も先生もI C T機器に習熟することが必要になってきます。

また、とびしま4島は光回線が整備されていないため、まだ校内にW i - F i環境はありません。そのため、既にプリントでお知らせしておりますが、モバイルW i - F iルーターも配付（貸与、通信料は呉市負担）します。



また、本日の学校朝会では、「タブレット端末活用のルール」についてプリントを使って簡単に説明しました。今後も、各授業において使い方やルールなどを丁寧に指導し、ご家庭に持ち帰ることができるように進めて参ります。

GIGAスクール構想によるICT環境を利用し、学びを広げ、生徒の力を伸ばすことができる教育を推進して参ります。ご質問などありましたら、ご遠慮なく学校まで連絡してください。今後もICT教育の推進にご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 現在、教員がiPadを使用している授業場面（一例）

- ・暗唱テストや新聞スピーチなどの発表の様子を動画で撮影し、発表した生徒に見せたり、全員で見て感想を共有したりしています。
- ・ボイスメモで録音・再生し、指導に活かしています。
- ・図や資料などを効果的に提示できるようにしています。
- ・英語の本文の音声データを入れて、授業中に聞きながらリスニング・スピーキングの練習などを行っています。
- ・生徒の様子などを写真撮影し、各種通信に使用しています。
- ・実験の様子を動画撮影し、繰り返し見られるようにしています。
- ・アームで固定し、教材提示装置として使用しています。

## 今後、予定しているiPadの活用方法

- ・予習や授業中に分からないことがあれば、調べ学習に活用します。
- ・教科書のQRコードから音声を再生し、授業で活用します。
- ・画像や動画などを、効率よく簡単に資料として提示します。
- ・NHK for school の動画を授業で活用します。
- ・インターネットのシミュレーションソフトを提示します。
- ・実験データを入力し、情報を共有し、考察に活用します。
- ・給食をつくっている様子や郷土料理などを撮影し、食育で活用します。

## 呉市が進めるICT教育 ～広がる学び！新たな可能性～

### ICT活用の基本的な考え方

- これまでのノートや鉛筆と同様にICTはあくまで一つの道具・手段として活用します。
- 授業においては教科等のねらいを達成するために活用します。
- 人と関わり合い学び合うことを引き続き推進し学びを深めるためにICTを活用します。

※ICT・・・情報通信技術 Information and Communication Technology

